

Ⅲ 開かれた・信頼される学校園づくりと評価の推進

成果指標：自校園のホームページを月１回以上更新している学校園の割合

１ 学校園情報の積極的な発信

項 目 (実践事項)		目指すべき姿	推 進 内 容 平成 25 年度
	アピールリーダー活動の推進 【２２３１】	アピールリーダーが中心となって、特色ある教育情報をタイムリーに発信・提供していきます。	・ 広報等に掲載された件数 ５０件
	オープンスクール等の実施	保育・授業や部活動など学校園の教育活動をありのままに公開するオープンスクールを実施し、保護者や地域の意見を学校運営や学級経営、保育・授業改善に活かします。	・ オープンスクールの実施 平均開催日数 幼稚園 ５日 小・特別支援学校 ３日 中学校 １０日 高等学校 ３日
	ＩＣＴを使った学校情報の発信	学校園ホームページや下校情報メール配信など、ＩＣＴを使って学校園情報の積極的な発信を行い、保護者や地域に開かれた学校づくりをめざします。	・ 学校園ホームページの更新 (月１回以上) ・ 下校情報メール配信システムによる情報提供

アピールリーダー

市民、家庭、地域、学校園、教育委員会における情報の共有化を進めることを目的とし、教育委員会の活動、学校園における方針や活動内容、校園区内の地域資源、市民活動、イベント等に至るまで広く情報発信する。

「学校評価」の定義

- ①自己評価：各学校の教職員が行う評価
- ②学校関係者評価：保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価
- ③第三者評価：学校とその設置者が実施者となり、学校運営に関する外部の専門家を中心とした評価者により、自己評価や学校関係者評価の実施状況も踏まえつつ、教育活動その他の学校運営の状況について専門的視点から行う評価
(平成２２年７月２０日に文部科学省が示した学校評価ガイドライン〔改訂〕より)

２ 学校園運営への市民参画の促進と評価の推進

(１) 学校園経営

項 目 (実践事項)		目指すべき姿	推 進 内 容 平成 25 年度
	特色ある学校園づくり	学校教育目標の具現化に向け、校園長のリーダーシップのもと、計画的、組織的な教育活動を通じて、特色ある学校園づくりを進めます。	・ 目標管理シートに基づく学校運営

	地域人材の活用（再掲） 【２２３１】	（P－２５）	
--	-----------------------	--------	--

（２）学校評価

項 目 (実践事項)		目指すべき姿	推 進 内 容
			平成 25 年度
	学校改善のための学 校評価の推進 【 2 2 3 1 】	学校教育目標の達成に向け P D C A サイクルに基づいた教育活動を行います。	・学校評価に関する研修会の実施（年 1 回） ・自己評価、学校関係者評価の実施・公表 ・学校評価結果の教育委員会への報告
	学校評議員制度 【 2 2 3 1 】	教育活動や学校評価等に関する学校評議員の意見を活かして、学校運営を充実します。	・学校評議員会の開催（年 3 回）

PDCAサイクル

Plan(計画)、Do(実行)、Check(確認)、Action(行動)の４つで構成されているマネジメントサイクルで、プロセスを繰り返すことによって、質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進する手法。

３ 安全・安心な学校園づくり

項 目 (実践事項)		目指すべき姿	推 進 内 容 平成 25 年度
	情報ネットワークづくりの推進	「下校情報メール配信事業」「伊丹市メールマガジン」「ひょうご防犯ネット」等の情報ネットワークをとおして、市民と一体となった安全対策を進めます。	・各メール配信事業による市民への啓発
	子どもの安全対策推進事業 【 2 2 3 2 】	・事故、犯罪、災害等に対する対処法や回避法に関する教育を行い、子どもたちの危機対応能力を育みます。 ・自転車交通安全教室を実施し、交通ルールの遵守と交通マナーの向上をめざします。	・定期的な通学路の点検（各学期 1 回） ・「地域安全マップ」の見直しと家庭への配布（校区ごと） ・C A P 講習会の実施（小学 3 年生対象） ・自転車交通安全教室の実施（全小中学校）

	学校園防犯・防災訓練 【２２２２】	【防犯訓練】 ・子どもたちの危機対応能力を育むとともに校内の組織的な危機管理体制を強化します。 【防災訓練】 ・東日本大震災、阪神淡路大震災から得た教訓を生かし、災害の状況に応じた対応力、危険から身を守り、安全を確保する力を育てます。	・警察と連携した防犯（不審者対応）訓練の実施 ・防犯マニュアルの見直し ・防災（火災、地震等）訓練の実施 ・防災マニュアルの見直し
	心肺蘇生法講習会 【２２３３】	【教職員】 ・ＡＥＤを活用した救急手当での指導力の向上を図ります。 【生徒】 ・生命を尊重する心を育て、習得した知識や技能を自らの生活に生かす実践力を育てます。	・教職員対象講習会の実施（１０校） ・中学３年生対象講習会の実施（全中学校）

CAP学習

Child(子ども)Assault(暴力)Prevention(防止)の略。子どもが様々な暴力から自分のからだや心を守るために何ができるかを具体的に伝え、子ども自身にできることを一緒に考えるプログラムである。子どもに自分の大切さを教え、子どもが本来持っている力を引き出す予防法である。

AED（自動体外式除細動器）

心臓が痙攣し、血液を体に送れないときに、除細動を与えて、心臓を正常な状態に戻す装置。

胸部２カ所にパッドを貼り、ボタンを押すと、AEDが自動的に心臓の状態を解析し、除細動が必要かどうかを判断し、音声ガイドで指示する。